
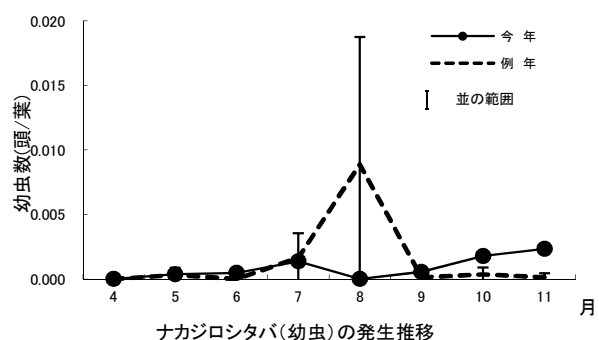
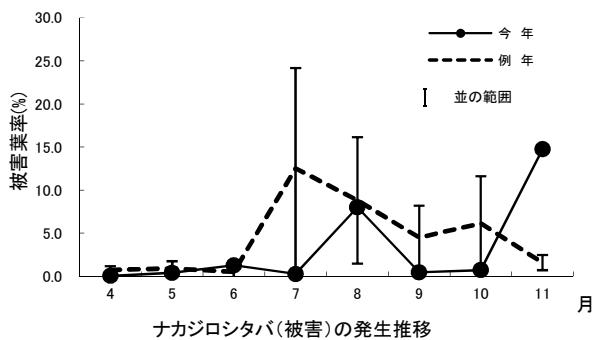


作物	カンショ	地域	沖縄群島
病害虫名	① ナカジロシタバ		
11月の発生量(現況)	多		
12月の増減傾向	↓		
増減傾向の根拠	今後1ヶ月の気温が低い見通しから、11月より発生量は減少すると考えられる。		

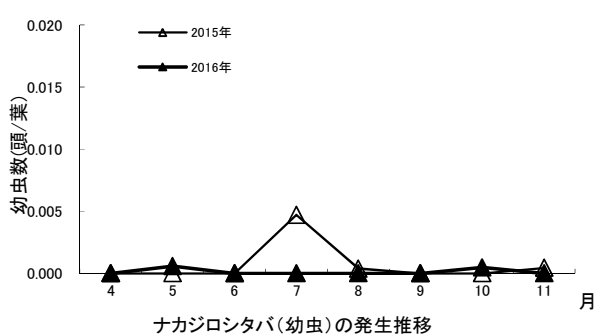
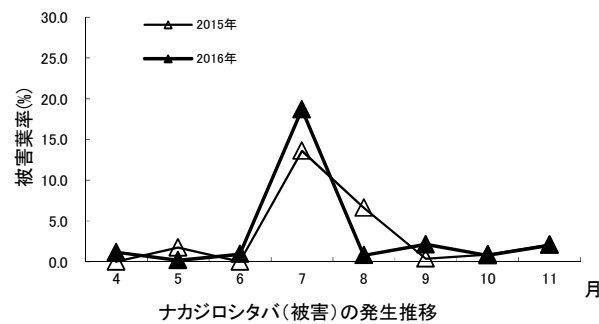
発生量の根拠(調査結果)

- ・ 11月中旬の調査の結果、被害葉率は14.7% (前年2.1%、例年1.6%) と例年より高かった。
- ・ 幼虫数は100葉当たり0.2頭 (前年0頭、例年0.1頭未満) と例年より多かった。

(今年のデータ)




(過去2年のデータ)



防除のポイント

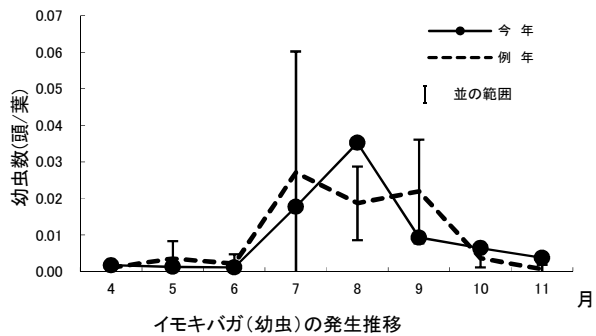
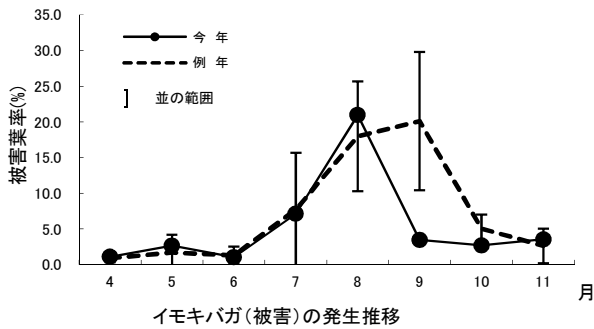
- ・ 老齢幼虫になると薬剤の効果が低下するので、若齢期の防除が重要である。

作物	カンショ	地域	沖縄群島
病害虫名	② イモキバガ		
11月の発生量（現況）	多		
12月の増減傾向	↓		
増減傾向の根拠	今後1ヶ月の降水量が多い見通しから、11月より発生量は減少すると考えられる。		

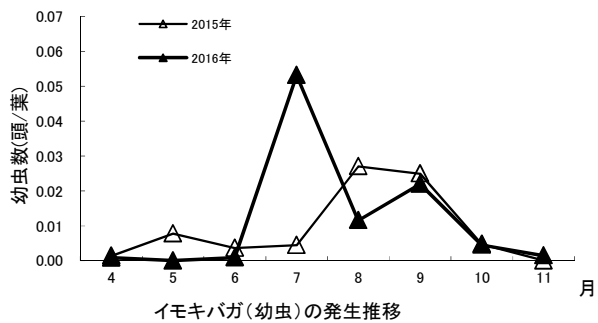
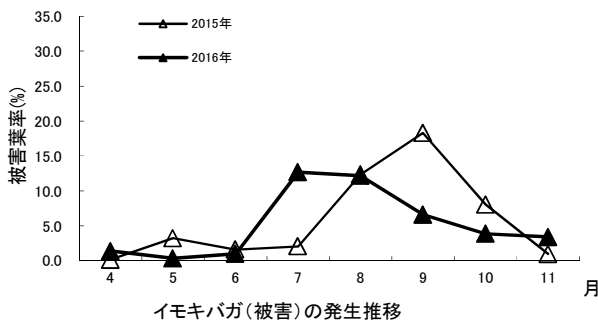
発生量の根拠（調査結果）

- ・ 11月中旬の調査の結果、被害葉率は3.5%（前年3.4%、例年2.6%）と例年並であった。
- ・ 幼虫数は、100葉当たり0.4頭（前年0.1頭、例年0.1頭、未満）と例年より多かった。

（今年のデータ）



（過去2年のデータ）



防除のポイント

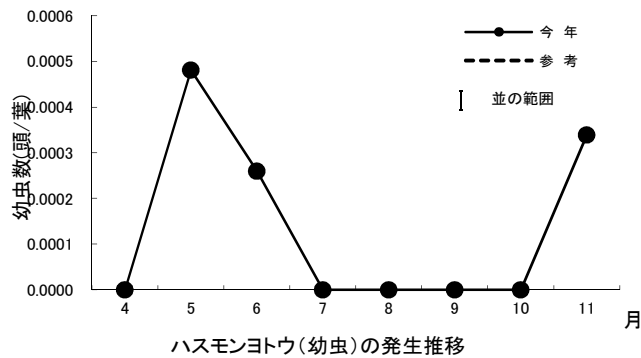
- ・ 老齢幼虫になると薬剤の効果が低下するので、若齢期の防除が重要である。
- ・ つづった葉の内部に潜んでおり、直接薬剤がかかりにくいいため浸透移行性のある薬剤を使用する。

作物	カンショ	地域	沖縄群島
病害虫名	ハスモンヨトウ		
11月の発生量（現況）	(発生なし) 判定不可		
12月の増減傾向			
増減傾向の根拠	データの蓄積不足のため、判定保留。		

発生量の根拠（調査結果）

- ・ 11月中旬の調査において、3,154枚（全9ほ場）の葉を調べた結果、幼虫数は1頭のみ観察された。

（今年のデータ）



若齢幼虫



中齢幼虫



終齢幼虫

防除のポイント

- ・ 老齢幼虫になると薬剤の効果が低下するので、若齢期の防除が重要である。